

南山幼稚園 80 周年記念コンサート

2016. 1. 23 (土) 14 : 00~15 : 00 南山幼稚園ホール

主催 : 名古屋 YMCA 南山幼稚園 80 周年記念事業実行委員会 / NPO 法人クラシックファンクラブ

後援 : 名古屋南山ワイズメンズクラブ・名古屋グランパスワイズメンズクラブ

演奏 : 「気軽に楽しむクラシック名曲コンサート」 宗次ホールクラシック音楽届け隊



学校法人名古屋キリスト教青年会学園南山幼稚園は前身の「小鳥の巣幼稚園」設立 (1935) 以来 2015 年度で 80 周年を迎えました。記念事業の一つ「クラシックコンサート」を開催するにあたり、南山会館を活動の拠点とする名古屋南山ワイズメンズクラブと名古屋グランパスクラブが後援することになり運営その他を二つのクラブが協力しました。

南山幼稚園の園児、保護者、近隣の住民など多数の参加で、宗次ホールの協力のもとクラシックの名曲の演奏を楽しみました。



「アイネ・クライネ・ナハトムジーク (モーツァルト)」の演奏で始まり、エルガーの「愛のあいさつ」やディズニー音楽、日本の四季メドレーと園児も楽しめる曲目が続き、「ドレミの歌」では園児が曲にあ

わせて口ずさんだり、ジブリ映画音楽もあって、途中でのクイズには園児が競って手を挙げて答えて、園児の元気さと知識レベルに感心しました。

南山幼稚園設立当時を少し振り返ってみましょう。

南山会館と幼稚園の開設

「名古屋 YMCA60 年史」(吉村欣治著)によると、南山会館の建設は学生 YMCA の寄宿舎と市 YMCA のランチ開設計画が大正 15 年頃から始まり、昭和に入って名古屋キリスト教青年会御器所会館の建設が発表され募金が始まりました。名古屋の発展が東郊に拡がって、大学、高校など学校教育の施設が東郊に増えてきたが青少年を対象とする青少年のための施設がなかったのである。募金は学生 YMCA は長松英一氏を中心に、市 YMCA は評議員、理事、総主事が積極的に進め、昭和 6 年の満州事変で暫く頓挫したが昭和 9 年 6 月 26 日、中区南山町(当時は中区)1,346.4 m²の土地を購入し、見田重次理事の寄贈により 68.75 坪(227 m²)木造 2 階建て洋館が昭和 10 年(1935)1 月 13 日「南山学生饒誠学舎」として発足しました。学生は寄宿を共にし、キリスト教主義の自治共同生活を営み、少年少女夏期聖書学校やレコードコンサートなどを近隣の人達のために開きました。

南山会館建設後付近居住者の熱望で幼稚園開設が昭和 10 年 10 月 28 日の定期総会で承認され、幼稚園の認可が受けられたので、「南山幼稚園」として園長に長松英一氏が就任しました。小鳥小屋をもらいうけ「小鳥の巣幼稚園」として親しまれ、幼い子どもたちにキリストによる保育が授けられました。

戦後の南山学生寮は、教会堂が焼失した日本基督教団名古屋教会の礼拝に用いられ、日曜学校は戦後の教育空白時代の近隣の子どもたちに多大な感化を及ぼしました。

名古屋教会の日曜学校を南山学生寮の野口清治寮長はじめ寮生たちが引き継いだ。

南山幼稚園は金沢博子主任保母のもと戦後直ちに再開し、昭和 26 年、愛知県学事課より認可を得るよう施設の改修を会館寄贈者見田氏の了承を得て進めた。これにより学生寮は縮小を余儀なくされました。

幼稚園の認可は昭和 27 年(1952)5 月 31 日、7 月 13 日南山会館改修感謝会を催し、長松英一氏を委員長、吉村欣治主事補が主任として就任し、南山ランチとして本格的に活動が始まりました。

幼稚園の母の会が昭和 29 年発足し、バザーその他の努力で保育室等の建設がすすめられ、昭和 30 年 11 月その一部が完成しました。(幼稚園設立 20 年)長松英一園長は昭和 28 年 11 月 26 日昇天され、水野宏氏が後任の園長となり、委員長には河野幸一氏が就任しました。事業として幼稚園、学生寄宿舎の他日曜学校、中学生の学習指導、幼児のピアノ教室、絵画教室、サマースクール、キャンプその他地域に対する奉仕事業を展開しました。

昭和 34 年、第 2 期の園舎(99 m²)が建てられ、昭和 38 年末第 3 期の園舎建設に着手した。水野園長は保育内容の充実と園舎建設の保育からの理念の実現に献身された。昭和 38 年 4 月に水野園長に代わり笠谷保太郎名誉主事が園長に就任しました。

※現在は学生寄宿舎は廃止され、学校法人名古屋キリスト教青年会学園「南山幼稚園」と公益財団法人名古屋 YMCA 南山ランチ(南山ファミリーYMCA)として活動しています。